
自安寺

写真：西岡潔



英語名：Jian-ji Temple
所在地：大阪市中央区
道頓堀 1-東 5-13
建設年：1968年 -

戦後の寺院建築はコンクリートで伝統木造を表現しようと試みる一方、様式にとらわれない、自由なデザインのモダン寺も登場する。打放しコンクリートの箱をずらしながら積み上げたような自安寺は、京都大学で教鞭を執った建築家、川崎清による設計。「千日前の妙見さん」として親しまれる自安寺は江戸中期の1742年、千日前の刑場横に創建された歴史をもつが、大阪市の都市開発に伴い1968（昭和43）年に道頓堀川に面した現在の地に移転した。目指された新しい都市の寺の形は、信仰の場と社会文化施設の融合。川崎は低層部に寺院部分を設け、高層部を会館部分として分離し、その間の3階に緩衝空間としてガラスで開放された、「市街地におけるサロン」としてのラウンジを設けた。そのラウンジのインテリアは、デザイナーの粟津潔が担当している。（高岡伸一）